

合併処理浄化槽を設置しませんか？

栲原町では、合併処理浄化槽を個人で設置する方に補助を行っております。

浄化槽の設置をお考えの方は、期日までにお申し込みください。

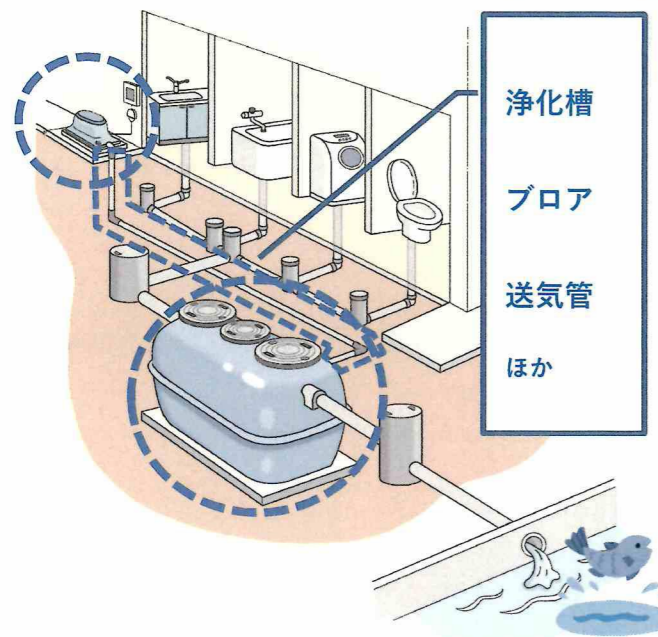
補助対象

主たる生計の場として居住する住宅に合併処理浄化槽を設置しようとする方

- 今年度内に設置し、使い始めることが確実な方が対象です。
- 公共下水道、農業集落排水区域内は補助対象外です。
- 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への変更も対象となります。



補助対象範囲



補助金額

浄化槽本体（フロアなど付帯設備含む）とその設置に要する費用（消費税含まない）から100,000円を引いた額
※配管や便器等は補助対象外です。

<補助金の上限額>

| | |
|---------|------------|
| 5人槽・・・ | 730,000円 |
| 7人槽・・・ | 935,000円 |
| 10人槽・・・ | 1,270,000円 |

申請受付期限

令和3年12月24日（金）まで

※上記期間内であっても、予算がなくなり次第受付終了となります。

※既設の合併浄化槽の更新については、昨年度（令和2年度）より補助対象外となっておりますので、お気を付けください。

設置要件・必要書類等、詳しくは 環境整備課 環境推進係 まで！ ☎：65-1251（担当：掛橋）

合併処理浄化槽を設置しませんか？

栲原町では、合併処理浄化槽を**集会所**に設置する方に補助を行っております。

浄化槽の設置をお考えの地区は、期日までにお申し込みください。

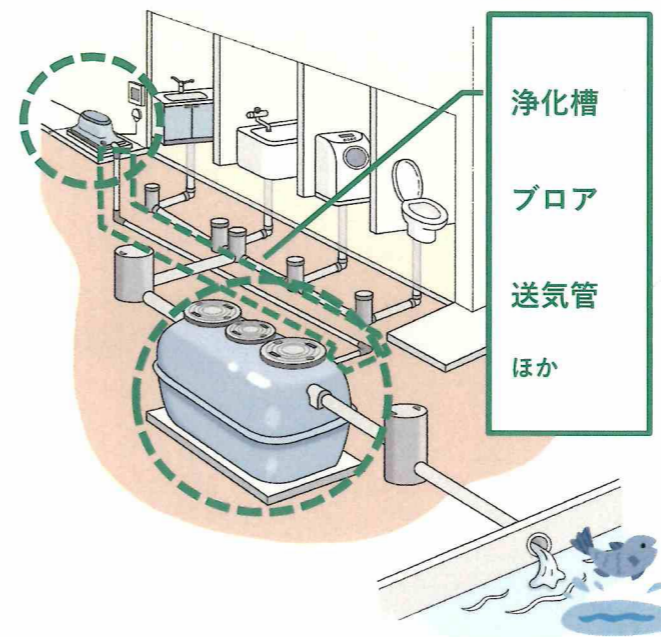
補助対象

集会所へ合併処理浄化槽を設置しようとする地区

- 今年度内に設置し、使い始めることが確実な集会所が対象です。
- 公共下水道、農業集落排水区域内は補助対象外です。
- 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への変更も対象となります。
- 申請される際は、申請者を部落代表者又は区長の名前で提出してください。
- 浄化槽の更新も補助対象となります。



補助対象範囲



補助金額

浄化槽本体（フロアなど付帯設備含む）とその設置に要する費用（消費税含まない）から100,000円を引いた額
※配管や便器等は補助対象外です。

<補助金の上限額>

| | |
|---------|------------|
| 5人槽・・・ | 730,000円 |
| 7人槽・・・ | 935,000円 |
| 10人槽・・・ | 1,270,000円 |

申請受付期限

令和3年12月24日（金）まで

※上記期間内であっても、予算がなくなり次第受付終了となります。

※この補助金については、一回限りとなりますので、よろしくお願いいたします。

設置要件・必要書類等、詳しくは 環境整備課 環境推進係 まで！ ☎：65-1251（担当：掛橋）

<森づくり担い手育成塾>

森づくり担い手育成塾の専攻科において、一年間共に勉強してきた2名の専攻科生の最終レポートを紹介し、専攻科は3月をもって修了しましたが、現在も自主的に修了生と勉強会を続けております。

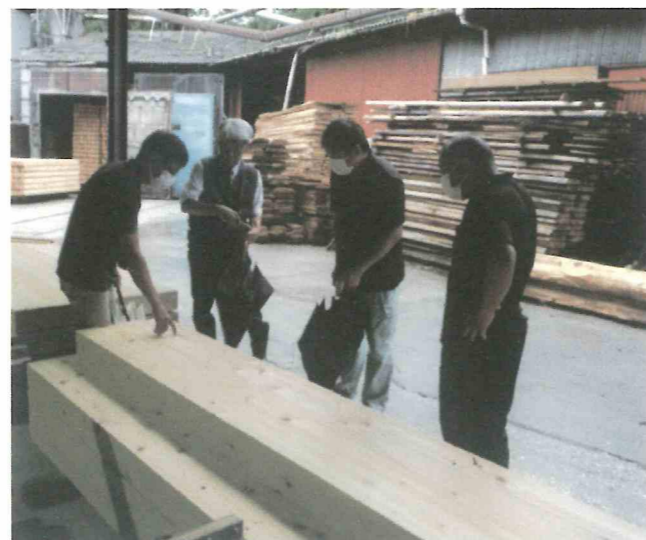
『一年間の学びと新たな挑戦』

梶原町森林組合 田尾欣三

「製材業の新たな方向性を見出す」をテーマとして、令和2年度に県内外の製材工場を視察しました。新型コロナウイルスの影響もあり十分な活動が行えない状況でしたが、同規模の工場や市場、工務店へのロット販売を主とした工場、また四国最大規模の工場など様々な施設を見学できました。意見交換の場では共通して、今後の丸太の安定確保が大きな課題と考え、立木の購入（山買い）を検討している事業者がほとんどでした。厳しい中においても利益を生み出している企業は、他社にはない強味を持っていました。そして、設備投資の際には、成功するとは限らないがリスクを負って導入する決断をしていました。

全国各地で稼働している大型製材工場の影響もあり、国内の製材工場の数は年々減少していますが、逆に製品量は増加傾向にあります。低質材（B材・C材）も木質バイオマス発電向けに需要が高まり、丸太価格は数年前に比べると上がってきています。しかし製品価格は上がらず、いわゆる「川中」と言われる製材にとっては厳しい状況が続いています。

住宅着工数が減少傾向にある中、非住宅分野での木材利用の高まりがあり、木材自給率は徐々に上昇してきました。しかし、その分野の多くは集成材やラミナ（板）挽きを中心とした大型製材工場の製品です。町内の製材が手がける無垢材（A材）も、今後はJAS規格（含水率・強度といった性能表示された製品）が必須となってきており、梶原町森林組合も令和3年度にJAS規格に対応できるグレーディングマシンを新たに導入して、販路拡大に向けた取組を行うことにしています。



関西木材建設にてJAS製品を学ぶ
(昨年9月・四万十町)

今は主軸の顔の見える家づくり（邸別販売）ともう一つの柱となる分野の開拓を模索している段階で、方向性はまだ見だせていない現状ではありますが、役場に新たに設立された森林の文化創造推進課と連携を図りながら、梶原町の目指す林業を構築していきたいと思っています。

『一年間の研修を終えて』

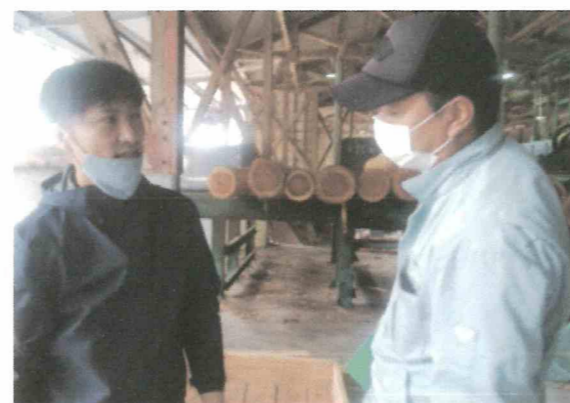
梶原町森林組合 中越康太

一年間様々な工場を見学、多くの方から話を聞いて、たくさん勉強させていただきました。どの企業も熱い想いを持って、今なにができるか、今後はどのように変わっていくのか、試行錯誤しながらやっていると痛感しました。

いま自分たちに一番欠けているのは、目まぐるしく変化する社会についていけない情報収集能力、行動力の不足だと思います。

机上で考え、それを理由に動かないのではなく、情報をもらうために動く、仕事を増やすために必死で動く、いま一番重要なことだと確信しました。

コロナ禍もあり動きにくくなりましたが、コロナを追い風と捉え、頑張っていくと思っています。この一年で学んだことを、今後の仕事に生かします。



嶺北林材協同組合にて経営方針を学ぶ
(昨年10月・本山町)



大型工場サイプレススナダヤを見学
(今年3月・愛媛県西条市)

次号から”育成塾”改め”実践塾”だよりに

町議会3月定例会の所信表明において、吉田町長は、産業振興に関連して次のように述べました。

「担い手確保につきましては、『ゆすはら産業担い手育成塾』を『ゆすはら産業担い手”実践塾”』に進化させ、産業の枠を越えた担い手同士の連携の仕組みづくりや地域課題の解決に、塾長及び担い手の皆さんと共に取り組んで参ります」

実践塾の塾長に宮本典晃氏（元キリンビール高知支社長）が就任しました。私は副塾長（広報担当）として宮本氏をサポートします。

新たにチャレンジする実践塾が”目指すもの”と”仕組み”について、6月号で詳しくお伝えします。

(塾長：笹岡)

【発行：ゆすはら産業担い手育成塾（森林の文化創造推進課内）】